

令和 4年 6月 15日

多賀城市議会議長 殿

会派名等 市民クラブ

代表者名 昌浦泰已



調査研究報告書

このことについて、下記のとおり実施したので、概要を報告します。
記

1 報告者 (参加者)

(1) 代表 昌浦泰已



(3)



(2)



(4)



2 調査研究の概要

- 調査期間：令和4年6月14日 (火)～令和4年6月14日 (火)
- 調査目的：シェルターインクルーシブプレイス コパル視察(完成見学会)
- 調査手法：視察調査
- 行程又は日程：別添行程表のとおり
- 調査先及び調査事項

調査日時	調査先	調査事項及び 現地視察の有無
14日 (火) 10時～ 11時	山形県山形市大字片谷地 500-1	①シェルターインクルーシブプレイスコパル視察 コパル発注者 山形市

調査資料：添付調査先作成資料のとおり

3 調査の概要

別紙のとおり

4 所感 (今後の市政に資する点)

別紙のとおり



シェルターインクルーシブプレイス コパル視察(完成見学会)

※シェルターインクルーシブプレイスに関して

シェルター 施設を施工し、指定管理者となった会社名。

本社 山形市松栄1丁目所在

インクルーシブ 英語で仲間はずれにしない みんなと一緒に
という意味。

プレイス 場所の意味。

シェルターインクルーシブプレイス コパル

障がいをお持ちのお子様も健常児も区別無く一緒に遊ぶことが出来る施設で、山形市が土地を提供し PFI の事業で設置し、指定管理者が施設の運営をしています。

1 調査の概要

6月14日(火)午前10時から11時の完成見学会に申し込み、視察をいたしました。参加者には東北大学大学院生(2名)や東北学院大学工学部建築科の4年生のグループ(4名)等、木を多く使った空間作りに興味を持って来館したようです。コパルの良さは企画段階から設計、施工、運営の役割を担う人たちが一緒になって一つの事業に取り組んだこと。約7カ月創造会議を実施。会議を通じてチームワークが醸成され、運営側からの注文に施工側が応じて、施工の途中で設計変更をして障がいがあるお子さんや人のニーズに合わせてたりしました。そのようなことを案内役の方から聞きながら1時間かけて施設を見学しました。

2 所感(今後の市政に資する点)

本市でもコパルのような施設があれば障がいの有無を問わず、全ての児童、生徒、成人の方もおおいに利用できる施設であると確信しました。本市単独でのハコモノ施設の設置は難しい時かもしれませんが2市3町(多賀城市・塩竈市・松島町・七ヶ浜町・利府町)で取り組めば実現可能と思いました。施設を利用して身体機能向上や社会性を育めることなどに着眼して、設置実現に力を注ぎたいと思いました。

結びに視察を終え、コパルは PFI の事業の成功例と言っても過言ではないと思うに至りました。

宮城県多賀城市議会 調査研究 行程表

〈 研修、調査研究、要請・陳情用 〉

会 派 名 「 市 民 ク ラ ブ 」

■ 日 程 令和4年6月14日（火）～6月14日（火）

日 程	行 程
<p>〈1日目〉 6月14日（火）</p>	<p>往路 7時47分発多賀城 —— 8時9分着仙台 8時17分発 —— 9時30分着山形 JR 仙石線 JR 仙山線</p> <p>9時34分発山形 —— 9時38分着蔵王 JR 奥羽本線</p> <p>復路 11時21分発蔵王 —— 11時26分着山形 11時59分発 —— JR 奥羽本線 JR 仙山線</p> <p>—— 13時15分着仙台 —— 13時51分着多賀城 JR 仙山線 JR 仙石線</p> <p>■ 宿泊</p> <p>■ 受講講義内容</p> <p>山形市が発注し完成した。健常者児も障害児もともに体験できる、生きる力を育む遊び場シェルターインクルーシブプレイス コパルを視察。</p>